

ルーム・サービス (1938)

ROOM SERVICE

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 78分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

実は破産状態のブロードウェイのプロデューサー、ゴードン・ミラー（グルーチョ）は、スタッフ・キャストを宿泊させたホテルから追い出されそうになる。だが資金調達のめどがたったので、なんとか詭弁を弄し、テコでも動かない。とにかく自分が一步部屋を出ている間に追い出されたら大変だと、舞台監督（チコ）とその付き人（ハーポ）と一緒に、ホテル社長の強引な追い立てに抵抗。と同時に、劇場の手配を神わざ的に画策する。後にフランク・シナトラ主演で「芸人ホテル」としてリメイクされた有名なヒット戯曲が原作で、パラマウントからMGMに移って人気絶頂だったマルクス兄弟を、RKOが借りて製作した意欲作。全編ほとんど、ホテルの一室で展開するという、いかにも舞台的設定を、W・A・サイターは相当苦心して、映画的に見せようと努力を払っているが、そこに三兄弟がハマってくるかどうかはまた別の話。正直なところ、話の内容だけではない窮屈さが、彼らの芝居から伝わってくる。いつもの奔放さを役柄にしばられて出せないでいるのだ。たとえば、服を宿賃の抵当に取られるのを心配して、三人いっせいにコートの下に幾着も着込むギャグなど、普段なら大いに笑わせられる所となるはずだが、全体にスマートなこのシチュエーション・コメディではどうも野暮ったい感じで精彩がない。が、ほとんど形態と視覚のギャグが沈没し、足を引っ張っている中、彼らがウェイターを騙してルーム・サービスの食事をとる場面だけは光っている。

【クレジット】

監督	ウィリアム・A・サイター	William A. Seiter
製作	パンドロ・S・バーマン	Pandro S. Berman
原作	ジョン・マーレイ	John Murray
	アレン・ボレッツ	Allen Boretz
脚本	モリー・リスキンド	Morrie Ryskind
撮影	J・ロイ・ハント	J. Roy Hunt
音楽	ロイ・ウェッブ	Roy Webb
出演	グルーチョ・マルクス	Groucho Marx
	ハーポ・マルクス	Harpo Marx
	チコ・マルクス	Chico Marx
	ルシル・ボール	Lucille Ball